



— 企画展 —

「近代版画のはじまり」

— 川瀬巴水、伊東深水ほか —

江戸時代に開花した浮世絵は広く普及し、多くの浮世絵師を生み出しました。しかし明治時代になり、西欧から印刷機や写真機が輸入されると浮世絵の出板は衰退しはじめます。同時期の西欧ではジャポニスムが席卷し芸術文化に影響を与え、その中心となったのが浮世絵でした。大量の浮世絵が西欧に輸出され、多くのコレクターを育てました。しかし日本では大正期になるとほとんどの浮世絵師が消滅し、摺師や彫師が細々と仕事を続けていました。西欧で高い評価を受けている浮世絵をもう一度蘇らせるために渡辺庄三郎により、浮世絵版画の制作過程と同じ彫師、摺師、絵師の三者協同で作品を制作する大正新版画運動が起こります。川瀬巴水は日本の美しい風景を叙情豊かに表現し「旅の版画家」「昭和の広重」と異名をいただくほどの高名な絵師になり、伊東深水は美人画の名手、役者絵は名取春仙、山村耕花が独特の作風で作品を手がけました。

図は井上安治作「浅草橋雨中之景」で、師である小林清親譲りの光への鋭敏な感覚が息づいています。水平線を低くとった構図を用い、煙のような雨夜の道に街灯や人力車夫の持つ明かりが反映し、独特の風情を感じさせます。



井上安治「浅草橋雨中之景」（当館蔵）

この度は、近代版画の創生期に活躍した川瀬巴水、橋口五葉、伊東深水、名取春仙、山村耕花などの作品で芸術品の域まで達した新版画を鑑賞していただきます。浮世絵から続く近代版画の世界をご堪能下さい。

馬頭広重美術館 学芸員 塩野目育枝

【会 期】 6月25日(金)～7月25日(日)

【ミュージアムトーク(展示解説)】

6月26日(土) 午後1時30分～当館学芸員

【開館時間】 午前9時30分～午後5時

(但し入館は午後4時30分まで)

【入館料】 大人 500円(450円)

高・大学生 300円(270円)

※()は20名以上の団体料金

※70歳以上の方、中学生以下は無料

※障害者手帳をお持ちの方・付き添い1名は半額。

ミニギャラリー 作品募集!

あなたの作品をここに
出展してみませんか?

絵画、写真、絵手紙などの
作品をお待ちしております。

申し込み・問合せ:企画財政課

☎0287-92-1114



ポピー満開(上河原農地水保全委員会)

ミニ ギャラリー



鮎釣り解禁(新那珂橋)